

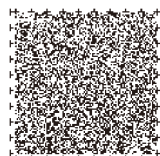


パラスポーツを もっと身近に!

東京ゆかりのパラスポーツ人材と
みなさまをつなぎます!

詳しくは裏表紙へ

パラスポーツ人材地域活動促進事業



— みなさまの“**想**い”を“**カタチ**”に —

東京パラくるって、何ができるの??

みなさまからの相談を受けて、事務局がコーディネートした内容や実際の講演会の様子をご紹介します!!



case 7

フットサルを通じて東京2025デフリンピックを盛り上げたい!

講演 依頼者: 新宿区
体験会 競技: デフフットボール
講師: 岩淵亜依選手、山本典城監督

区として東京2025デフリンピックを盛り上げるため「サッカーに関連するデフアスリートを招き、区で活躍するサッカークラブとも連動したイベントとしたい」という依頼者の希望に対して、**希望に合った講師のご紹介や企画の提案**をしました。

当日は、**パラくる事務局の進行により**、聴覚障害の特性や日常生活、デフサッカーの特徴や東京2025デフリンピックについて講演いただきました。体験会では言葉を使わないジェスチャーゲームや手話を用いたミニゲームを行い、全員が耳栓をし、音が聞こえない状態でサッカーを楽しみながら交流しました。

講師との交流をとおして、聴覚障害のある人とコミュニケーションを取る際の多様な方法を学び、東京2025デフリンピックがもっと待ち遠しくなるイベントとなりました。



参加者の声 人の口の動きを見て、相手が伝えたいことは何か当てるのが楽しかったです。もう一度耳が聴こえない人に会ったら、声を出さずに話したり、いろんな動きで表したいと思います。



事例はこちら▶

パラアスリートをもっと身近に感じてもらいたい!

これまで経験したことをもとに、児童、生徒にお話ししています。

また、先生や親御さんなど支える立場の方々に向けてのお話しや、バリアフリーに関するテーマについても、機会があるとうれしいです。

パラスポーツやパラアスリートに興味を持っていただけましたら、ぜひお気軽に東京パラくる事務局へご連絡ください。私たちも皆さんにお会いできるのを楽しみにしています!

にじょうみほ
二條実穂さん(元 車いすテニス選手)



誰もが活躍できる社会を実現するために!

パラアスリートは様々なエピソードを持っていますので、ぜひ興味を持っていただけたらと思います。これからパラスポーツを始める方はもちろん、「本格的にパラスポーツに関わっていきたい!」という方に対して、私自身の経験を踏まえたお話ができると思います。

私の講演を通して、今後一緒にスポーツに取り組んでもらえる方が増えると嬉しいです!

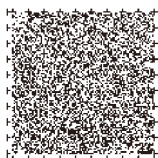
あり やす りょう へい
有安諒平さん(ボート/クロスカントリースキー選手)



障害あるなしに関係なくだれもがチャレンジできる日本へ

2025年には東京で夏季デフリンピックが開催されます。そこに向けて私自身がデフフットサルを通じてきこえない選手と関わってきた経験を踏まえたお話の中から、少しでも聴覚障害を知っていただき、社会の共生を考える方が増えると嬉しいです! また10年かけて世界一という結果をつかみ取るまでに大事にしたマインドのお話などもできると思います!

やま もと よし き
山本典城さん(デフサッカー・フットサル女子監督)



パラアスリートを呼んだ特別プログラムで、子どもたちに新たな刺激を与えたい！

体験会 依頼者：運動療育で生きる力を育む シエル中町教室
 競技：パラテコンドー
 講師：伊藤力選手、大津恵美子選手

子ども向けに運動療育を中心に発達支援を行う事業所で、「普段の運動とは違ったプログラムを実施することで新たな刺激を与えたい！」というお話から、**体全体を使った動きができるパラテコンドーをご提案し、登録講師の中から選手をご紹介**しました。

ミット蹴りでは、最初は恐る恐る蹴っていた子どもも、慣れてくると力強く蹴ることができるようになり、型(かた)では「ハッ！」という声を出す場面もあり、見学の保護者も「かっこいい姿が見られた」と喜んでいました。講師側から積極的にコミュニケーションを取ることで、子どもたちも楽しく取り組むことができ、非常に充実した時間となりました。今回の体験会がきっかけとなり、シエル中町教室では継続的にパラテコンドー教室の開催へと発展しました。



依頼者の声

障がいのある子どもの親御さんは「どうせ、うちの子には無理」と、子どもの将来や可能性を諦めている方が少なくありません。そんな親御さんに、障がいがありながらも一流のパラスポーツ選手として頑張っているお二人の姿を見てもらうことで前向きになってもらいたいという思いから、パラアスリートを呼びました。

自分の成果を一流のパラアスリートに見てもらい、褒めてもらう。このような貴重な体験や交流は、子どもたちの成長において、大きな経験になったと感じています。



事例はこちら▶

道徳授業の一環として、生徒たちに“見えない障害”を知ってほしい

講演 依頼者：小平市立上水中学校
 競技：知的障がい者サッカー
 講師：東京都知的障がい者サッカー連盟

「生徒たちに“見えない障害”を知ってほしい」という依頼者の要望がきっかけで、本事例がマッチングしました。

実施内容の検討にあたり、**依頼者の希望に合わせて、過去に実施した活用事例や、講演テーマ、講師のお話の紹介**を行いました。

当日はコーチと4名の知的障害を持つ選手が来場。講演会中、選手たちは生徒の席に混ざり、ディスカッションに参加しました。講演では、肢体不自由者と知的障害者の特徴や対応、接し方の違いなどについて、ディスカッションタイムや発表の時間を設け、自ら考えたとともにまわりの人と考えを共有する時間を設け、学びを深めました。

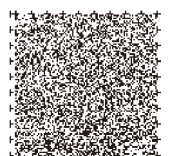
依頼者の声

私自身、特別支援学級のある学校で勤務をする中で、障害のある生徒へのイメージが変わっていったことがありました。事前にアンケートを取ると、多くの生徒も以前の私のように偏見や誤ったイメージが散見されました。

講演を通じ、内容はもちろん、選手たちと直に接したことで、知的障害のある人へのイメージや接し方を理解する機会になったと、手応えを感じています。



事例はこちら▶





パラスポーツをもっと身近に。

～東京ゆかりのパラスポーツ人材とみなさまをつなぎます!～

東京パラくるとは？

東京パラくるは、みなさまが実施する講演会やスポーツ教室・体験会等の講師や指導者探しのお手伝いをします。



 **パラアスリートが来る**

 **パラスポーツに人が集まってくる**

 **パラスポーツが生み出す好循環(サイクル)**



●対象となる団体

区市町村、地域スポーツクラブ、学校、社会福祉施設、その他パラスポーツに関心のある企業など。

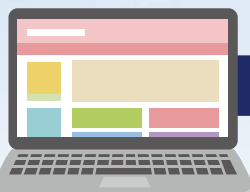
団体の規模は問いません。
どなたでもお気軽にご相談ください!

●対象となる事業

講演会、スポーツ教室・体験会など。「うちのチームに教えに来て欲しい!」といったご希望も、お気軽にご相談ください。

東京にゆかりのあるパラアスリート、 障害者スポーツ競技団体等が多数登録!

事業実施までの流れ



お申込み

▶講演等の希望内容送信

当ホームページの「講演等の希望内容送信」より、希望講師・競技・日程等、必須項目を入力して送信してください。

▶講師など詳細が決まっていない場合

具体的なお要望が確定していなくても、お気軽に「お問い合わせ」よりご相談ください。

- ①ご依頼者様と事務局で打合せをさせていただき、事務局が講師に打診し、講師側の実施イメージを確認します。
- ②事務局よりご依頼者様に講師の意向をご連絡します。
万が一ご希望に添えなかった場合、代替案をご提案させていただきます。
- ③ご依頼者様より講師への講演依頼手続き、謝金等のお支払いを行っていただきます。

※選手によっては、競技団体や選手のマネジメント担当者等と直接調整が必要な場合もあります。

▶開催当日

ご依頼者様と講師により事業を実施してください。
事務局職員も同行しサポートさせていただく場合もございます。

※終了後、実施報告書等のご提出にご協力ください。(書式は事務局が用意しております。)



ご希望内容
(ご相談内容)
の調整

講演・体験会
当日

